

広川 良子 選

特
選

大プールながれるプール目がまわる

府中町立府中中央小学校四年 黒河心乃羽

【評】プールにも色々のしかけがある。目のまわるほど流れの早いプールのスリルを十分たのしんだのだ。

ひまわりはわたしのしんちようおいこした

庄原市立東小学校一年 恵崎 美音

【評】だいに育ててきたひまわりが、自分の背たけより高くのびた。その成長をよろこんで見上げ満足している。

船の外真上に光る天の川

県立三原高等学校一年 橋本 英明

【評】真つ暗い夜の海に出て、船上から見上げた天の川はさぞきれいに輝やいていたことでしょう。

青空の下で打ち合う水鉄砲

福山市立誠之中学校三年 井上 愛咲

【評】 青空の下で水鉄砲を打ち合う健康的な子ども。元気いっぱいにはしゃいで打ち合う声が聞こえてくる。

満開のさくらとともにスタートだ

府中町立府中小学校四年 堀江 采葉

【評】 さくらの花が咲いた。人の心も晴れやかでよろこびと希望にみちた明日がある。

かみなりがごろごろおこってる

庄原市立高野小学校一年 小沼菜々海

空蟬をいまつつみたる幼き手

廿日市市立廿日市中学校三年 中尾 朱里

なめくじも野さいをたべるくいしんぼう

府中町立府中央小学校二年 妹尾 侑奈

ゆうだちやほっとするかおみなおなじ

福山暁の星小学校三年 神原 佳澄

風車父にせ負われ回す子よ

廿日市市立佐方小学校四年 梶川 修

あさがおを一年生がそだててる

府中町立府中小学校二年 森 奏登

風鈴のささやく音は波の音

府中町立府中小学校六年 新川 翔空

消しゴムがとけるほどの真夏日に

呉市立蒲刈中学校三年 竹内 海登

授業中見上げた空は鰯雲

庄原市立西城中学校一年 加藤 和寿

猛獣の澄む目に映る西日かな

広島市立瀬野川中学校三年 児玉 健人

宮島の入道雲が窓の中

広島市立瀬野川中学校三年 宮崎 樹

眠れぬ夜昼に逃した蚊の声に

廿日市市立廿日市中学校三年 長束 美稔

仏壇に林檎が香り祖父想う

呉市立川尻中学校三年 橋本 奈々

猫じゃらしガードレールに揺れている

福山市立新市中央中学校三年 松江 彩未

線香のほのかに香る帰省先

県立広島皆実高等学校二年 羽根 愛果

汗かいてペットボトルが軽くなる

県立三原高等学校二年 五阿味直斗

二百円握りしめ買うかき氷

県立三原高等学校二年 平田 樹生

夕立と家まで競走勝ってやる

県立三原高等学校二年 藤田 涼平

今は亡き母のにおいの蘭座布団

県立千代田高等学校二年 服部 純平

砂浜を走り飛び込む海開き

呉市立呉高等学校三年 工 萌愛

広川 良子 選

特選

田水張る地球平らに千枚田

庄原市 永宗 敏昭

【評】 広々と見渡す限りの千枚田に水が張られた。まさに地球が平らになった実感であろう。

鉄板を張りしお城や天高し

福山市 高木佐和子

【評】 築城四百年を祝い、令和の大普請の成った福山城の雄姿。鉄板張り
は福山城の誇りである。

蟬しぐれ平和を告げてゐるやうな

山県郡安芸太田町 小西佐和子

【評】 うるさく聞こえるあの蟬の鳴き声も、平和な日本であるからこそ
の、聞こえようである。

水替への手に柔らかき金魚かな

呉市 宮首美代子

【評】 水を替えてやるとき一寸手に触った金魚の感触。思わず金魚の柔らかさにおどろいた作者。

たばこ屋の早々しまふ夕河鹿

福山市 嶋山 洋子

【評】 めったに客も来ない田舎のたばこ屋が早々と店を閉じた。あたりに聞こえるのは河鹿の鳴き声だけ。鄙びた夕暮れ。

入 選

見守れる母もずぶぬれ水遊

福山市 世良 正子

朝食の箸置き黙禱原爆忌

福山市 渡辺 素子

後継ぎの無き印判屋燕来る

広島市 藤谷 知子

風立ちて一山揺らぐ芒かな

大竹市 二階堂 頼二

目標は日に三千歩天高し

廿日市市 永野 昌人

白杖へ道を譲りぬ若葉風

広島市 煙石 博

口喧嘩しつつも二人桜餅

呉市 手納 正康

みちのくの旅偲ばるる鉄風鈴

福山市 小林 洋子

病室の窓額縁に虹仰ぐ

福山市 久保 紘子

ビル崩す重機唸るや走り梅雨

呉市 森 陽子

朝顔や空は静かに青くなる

広島市 下末かよ子

病みて知る夫のつよさよ百日紅

福山市 林 すみ

住職の茶色の作務衣茄子の花

広島市 本藤 玉江

万緑や校歌の山を主峰とし

広島市 森本 弘子

逝く秋の浜に朽ちたる捨小舟

福山市 戸原 澄清

宣言をもらさじと聞く原爆忌

福山市 朝日奈教子

朝顔や絵筆にのせて見たき色

福山市 箱田富久恵

ねこじやらしはぶてたる子をあやすかに

山県郡安芸太田町 浅田 洋子

原爆忌ひたすら願ふ平和かな

尾道市 日田 富恵

初咲きの朝顔今朝の空の色

福山市 坂田 尚子